

## 研究計画概要

助成年度・種別	2018年度 若手研究助成
研究者	今井 聖
所属	立教大学
研究テーマ	<親一子>としての遺族のアイデンティティ管理とネットワーク形成: 遺族会での聞き取りと個人的経験のインタビュー調査から
研究計画概要	<p>本研究の目的は、犯罪被害や当人の自死により、親あるいは子を喪失し、遺族となった人々の、遺族としてのアイデンティティ管理と人的ネットワーク形成がどのようになされているのかを明らかにすることである。</p> <p>本研究では、遺族会での聞き取りと個別の遺族へのインタビュー調査によって、支援のための社会的制度がいかに関与され、同時に、他の家族や他者との繋がりはどのようにしてなされているのかを明らかにする。それにより、第一に、「遺族」としてのあり得る経験を明確化し、第二に、そうした経験を有する「遺族」の人々に対する社会的支援のあり方を考察する。</p> <p>遺族たちは、社会的相互行為の場において自らがどのような遺族であるのかを述べることになるが、そのとき当人は親あるいは子のうちいずれの遺族であるのかを述べ、そうしたアイデンティティ交渉とともに経験を記述する実践を行っている。そこで本研究では、&lt;親一子&gt;としての遺族の経験のあり方に着目して、遺族会での参加者たちの対話の聞き取り調査(フィールド調査)と、個別的なインタビュー調査という調査方法で、&lt;親一子&gt;としての遺族のアイデンティティ管理とネットワーク形成の実態を明らかにする。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究は、犯罪被害や当人の自死により親あるいは子を喪失した人々の、アイデンティティ管理と人的ネットワーク形成がどのようになされているかを実証的に明らかにするものである。遺族に対する心理的支援は重要な研究テーマであり、研究の成果に期待したい。</p>